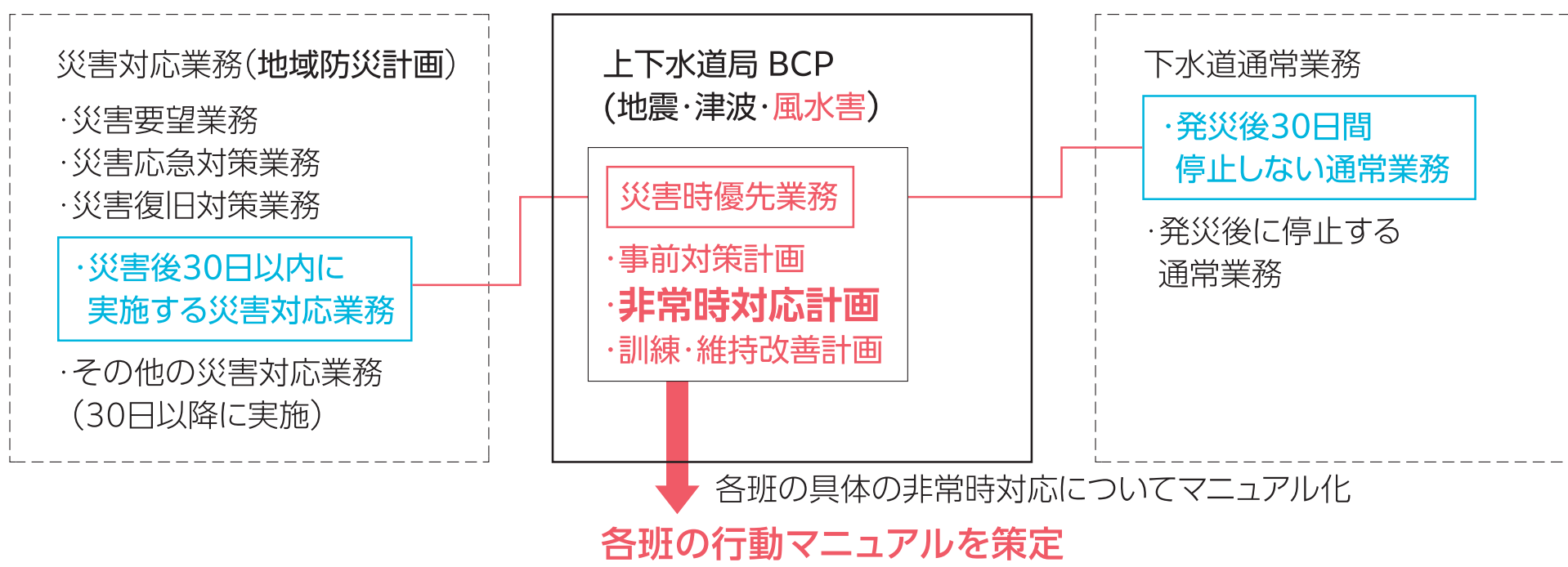


日水コンの大規模災害への取組

近年、大規模災害が全国的に多発しています。日水コンでは、過去の大規模災害での支援経験に基づいたBCP計画策定から訓練・災害復旧支援まで全般的に支援します。

下水道BCP(風水害編)の策定事例(富山県富山市) 令和2年12月

災害時優先業務の選定



発動基準



- 内水氾濫時に対しては既に緊急対応マニュアルを策定済。
- 河川水位が氾濫危険水位に達した時、上下水道BCP(風水害編)が発動。

対応体制

通常業務体制	水防警報水位	氾濫危険水位
経営企画課	緊急対応マニュアル 第二次配備 (富山市 内水浸水対応の計画)	富山市下水道BCP (風水害対策編)
契約出納課	情報処理班	総務 第1班
給排水サービス課	情報処理班	総務 第1班、下水道 第2班
下水道課	排水設備班	下水道 第3班
施設管理センター	排水樋管監視班、雨水幹線監視班+3班	下水道 第1班、下水道 第2班
東西上下水道サービスセンター	ポンプ施設の点検監視班、合流区域の点検監視班+3班	下水道 第4班
浜黒崎浄化センター	ポンプ施設の点検監視班、雨水幹線の監視及び排水樋管の監視班+2班	地域上下水道班(東SC班) 地域上下水道班(西SC班)
	浄化センター班	浄化センター

非常時対応計画のポイント

- 「誰が・いつ・どこで・何を・どのように」を明確にする。
- 役割・実施体制は班別行動マニュアルにて、優先実施業務ごとに整理し、速やかな対応を目指す。
- 市職員のリソースや維持管理会社で対応できない事象・役割は、災害支援協定にて補完する。

実践的なBCP訓練の取組事例(神奈川県厚木市) 令和元年9月

基本方針

- 1 発災後に職員が主体的に対応する一次調査にフォーカス
- 2 厚木市下水道関連職員の全員参加型(事務系職員含む)
- 3 日曜日の午前(8:30~12:00)で実施
- 4 机上型訓練(グループワーク)と実地訓練に分けて実施

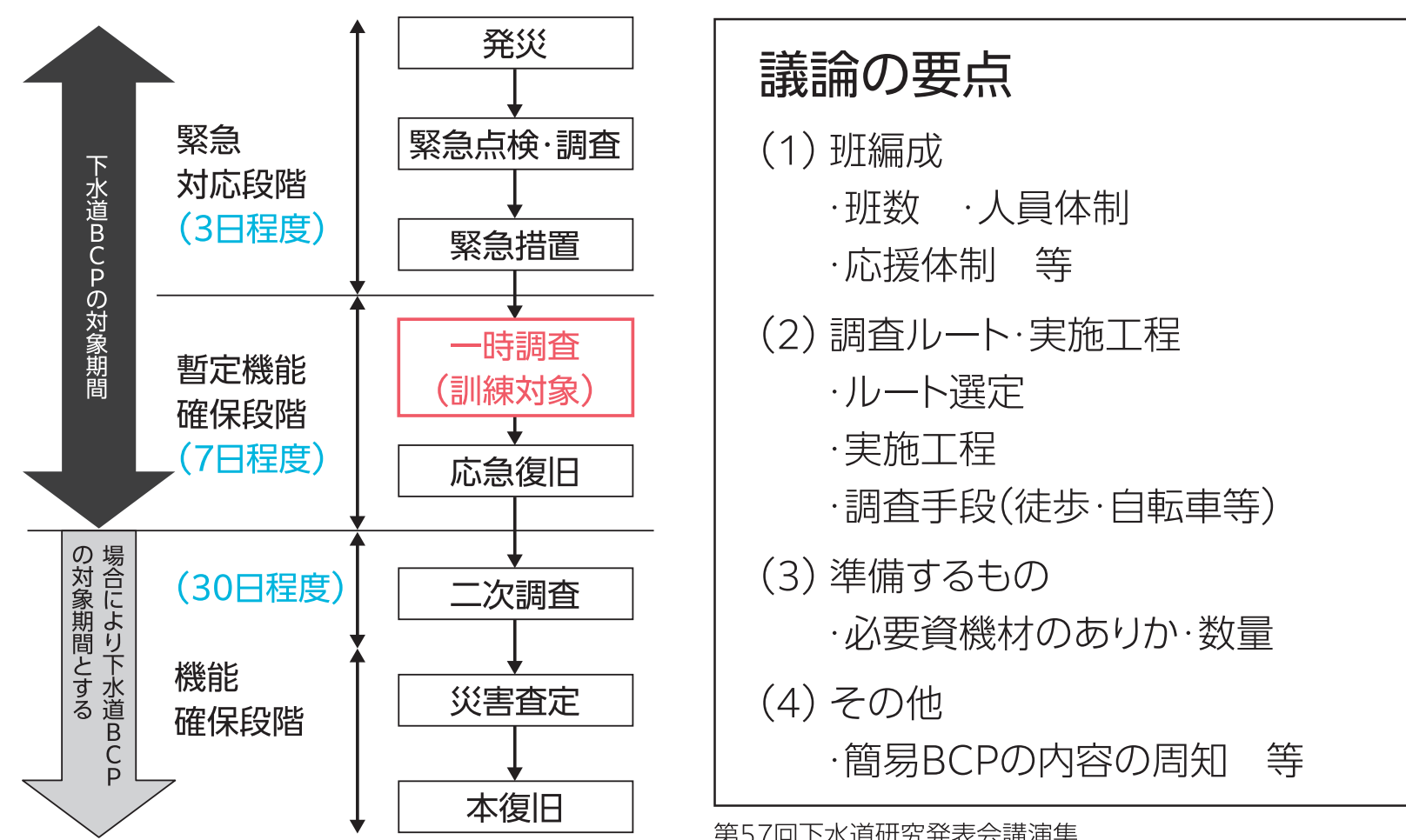
時間	内容	備考
8:30~9:00	①目的、訓練内容等の説明	質疑を含む
9:00~9:45	②机上型訓練(グループワーク)	4班
9:45~10:30	③実地訓練(一時調査の実演)	2班
10:30~11:10	④机上型訓練の発表	10分×4班
11:10~11:40	⑤他都市事例の紹介	日水コンより
11:40~12:00	⑥統括+アンケート	

机上型訓練:一次調査計画書の作成

- 液状化被害が想定される路線を予め抽出・整理(地域防災計画参照)
- 議論の要点(一次調査計画書雛形)を整理(議論の活性化に配慮)
- 普段業務を行っている所内スペースで実施(臨場感に配慮)

実地訓練:一次調査の実演

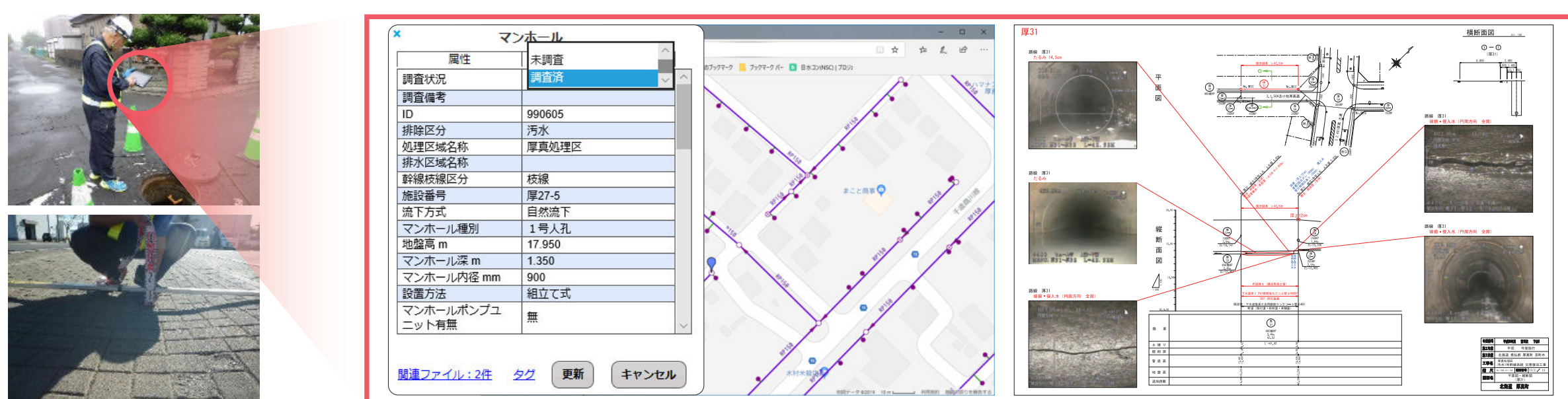
- 一次調査説明用パンフレットを作成・活用
- 実際の調査方法(資機材の活用方法)・記録手順を実演



第57回下水道研究発表会講演集
「実践的なBCP訓練の取組事例:厚木市BCP訓練を通して」より

北海道胆振東部地震での災害復旧支援(北海道厚真町) 平成30年9月

クラウド型下水道台帳システムを活用した被災状況調査



災害時におけるメリット

- 下水道台帳図の印刷が不要
- 紙より持ち運びがしやすい
- 調査結果を即座に記録できる
- 欲しい情報がすぐ分かる
- 情報共有が容易
- リアルタイムで情報更新可能



私たちが全力で支援します!